

年末年始の

お知らせ

市では一部の施設を除き、12月29日(木)から1月3日(火)まで閉庁します。
ご理解とご協力をお願いします。



■二次救急実施病院

【診療時間】

午前8時45分～翌日午前8時45分
※岡波総合病院は午前9時～翌日午前8時45分

12月29日(木)	名張
12月30日(金)	上野
12月31日(土)	名張
1月1日(日・祝)	名張
1月2日(月・振休)	岡波
1月3日(火)	名張

【問い合わせ】 医療福祉政策課

☎ 22・9705 FAX 22・9673

■伊賀市応急診療所

【所在地】 上野桑町1615番地

【診療科目】 小児科・一般診療

【診療時間】

◆12月29日(木) 午後8時～11時

◆12月30日(金)～1月3日(火) 午前9時～正午

○午後2時～5時

○午後8時～11時

※受付時間は、診察終了時刻の30分前まで

※健康保険証・各種受給者証・服用中の薬の内容がわかるものなどを持参してください。

【問い合わせ】 伊賀市応急診療所

☎ 22・9990

■国民健康保険診療所

○阿波診療所

○山田診療所

○霧生診療所

12月29日(木)から1月3日(火)まで休診します。

【問い合わせ】 保険年金課

☎ 22・9659 FAX 26・0151

■上野図書館・各図書室

【休館日】

12月28日(水)～1月4日(水)

【問い合わせ】

○上野図書館

☎ 21・6868

FAX 21・8999

○各図書室



■住民票の写し・印鑑登録証明書などの「コンビニ交付」

次の期間は、コンビニエンスストアの店舗内にあるマルチコピー機で住民票の写しなどが取得できるサービス(コンビニ交付サービス)を休止します。

【休止期間】

①12月29日(木)～1月3日(火)

②1月14日(土)

※②は、市役所庁舎停電のため

【問い合わせ】 住民課

☎ 22・9645 FAX 22・9643

■市内コミュニティバス・行政バスの運行

○上野コミュニティバス

12月30日(金)～1月4日(水)

↓土・日・祝ダイヤで運行

○比自岐コスモス号

○いがまち行政サービス巡回車

○島ヶ原行政サービス巡回車

○阿山行政サービス巡回車

○大山行政サービス巡回車

12月29日(木)～1月3日(火)

↓運休

○青山行政バス

①12月29日(木)～31日(土)

↓土曜ダイヤで運行

②1月1日(日・祝)～3日(火)

↓運休

※青山中学校休校日(12月24日(土)～1月7日(土))に運休となる便があります。時刻表でご確認ください。

【問い合わせ】

○交通政策課

☎ 22・9663 FAX 22・9852

○三重交通(株)伊賀営業所

☎ 66・3715

○各支所振興課(上野支所を除く。)



◆伊賀市に着任した2人の隊員を紹介します

地域おこし協力隊がやってきた!

【問い合わせ】地域づくり推進課
☎ 22-9680 FAX 22-9694



10月に阿波地域へ1人、11月に丸柱地域へ1人の地域おこし協力隊員が着任しました。

◆主な役割は、地域振興と地域課題の解決

伊賀市での地域おこし協力隊の役割は、地域に移り住み、地域振興のために活動したり、地域の課題解決に取り組んでいくことです。

◆地域との協議を経て2地域へ配属することに

市では、昨年度から各住民自治協議会を対象に、ニーズ調査を行うなど協議を進めてきました。今年度に入り、具体的な活動内容(任務)の整理ができ、地域の受け入れ体制が整ったことから、6

月から募集を開始し、8月に阿波地域と丸柱地域の地域おこし協力隊員を決定しました。

今後はそれぞれの地区市民センターに勤務しながら、地域での任務に取り組んでいきます。

▼地域おこし協力隊辞令交付式



阿波



◆^{はやかわ}早川 ^{ゆうし}侑志さん (23歳)
桑名市出身

《任務》

- 阿波地域住民自治協議会と連携して、「地域まちづくり計画」の見直しや、地域振興に取り組む
- 「さるびの温泉」の企画・運営のサポートなどを行い、阿波地域全体の活性化をめざす

丸柱



◆^{はしもと}橋本 ^{れお}玲麻さん (35歳)
宗像市(福岡県)出身

《任務》

- 丸柱地域まちづくり協議会と連携して、伊賀焼を中心とした地域振興に取り組む
- 伊賀焼の技術を習得しながら、その魅力の発信と、伊賀焼の価値を高め、後継者づくりにつながる取り組みを行う

◆隊員2人の意気込みなどを伺いました

歴史が好きで伊賀地域の歴史に興味があったことや、現地説明会で阿波の人の地域振興に対する熱い思いにふれ、この地域の活性化に取り組みたいと感じたことから、今回、地域おこし協力隊に応募しました。

また、温泉巡りが趣味なので、「さるびの温泉」の持つ魅力をさまざまな世代の人に知っていただきたいという思いがあります。

季節ごとに違う楽しみ方ができる温泉として広報にも力を入れ、活性化に取り組んでいきたいと思っています。



以前から、焼き物や着物など、生活の中にある日本の伝統文化に魅力を感じていました。

現地説明会で、地元愛にふれ伊賀焼に興味を持ち、ここで過ごすことで私自身も豊かになれるのではと考えました。

丸柱は、ユニークであたたかい人が多い土地だと感じています。また、実家で使用している鍋が偶然にも伊賀焼でした。日常に溶け込んだ伊賀焼や、丸柱の風土や人柄の魅力を「よそ者」の視点で発信し、伊賀焼の技術を身に付けて、より多くの人を訪れるきっかけになるよう活動したいと考えています。

